

## ビジョンさがしプロジェクト

月曜日

12

### きょうのみことば

使徒 2:17

神は言われる。終わりの日に、わたしの霊をすべての人に注ぐ。すると、あなたがたの息子や娘は預言し、青年は幻を見、老人は夢を見る。

神様がなさることをあらかじめ知っているなら、がっかりすることはありません。いつも感謝して、喜んでいことができるでしょう。神様は、いつでもあらかじめ知らせてくださうとしています。神様があたえてくださる才能(タラント)を持って神の国を広げていくことに用いられることを願います。

#### 1. まずそなえるべきこと

レムナントは、神様が喜ばれる人柄をそろえなければなりません。他の人が見ても理解できる客観性、私が特別によくできる専門性、正確に判断できる事実性、偽りが無い真実性、考えだけで止まらず、生活でなしとげていく実践性を正しくそろえなければなりません。

#### 2. 神様から受けたビジョン

ビジョンは、私がむりに作るものではありません。神様がよこされるみこころに従って、各自に分けてくださったタラントを無視して、自分の欲のとおり生きるということは、愚かなことです。神様が私にくださった才能を発見して、それをビジョンとしてよく育てるのが賢いことです。

#### 3. 私にくださったビジョン

神様がくださったビジョンをどのように見つけるのでしょうか。まず私にある問題の中で探してみましよう。石ころばかりの畑に隠された宝物のように、問題の中にビジョンが隠されています。神様のみことばと現場で祈りながら答えを少しずつ発見して行けば、真のビジョンを正確に見ることができます。

神様、私にぴったりなビジョンをあたえてくださることを感謝します。私にあたえてくださるビジョンを持って、神様に栄光をささげて、福音をつたえることにもっと用いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

※ 定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましよう。夜 9 時 RUTC のために祈りましよう

### 失敗者の道を行ったサウル王

心にねたみ、しっと、欲がいっぱいだったサウル王は、失敗者の道を行った代表的な人です。一生の間、努力したのですが、福音を知らず、自分だけではなく、子どもたちや周囲の人々まで失敗させてしまいました。



かくし絵

ハート、十字架、針、ものさし、コンピュータのマウス、骨、スプーン、やじるし、にんじん、スイカ、バトミントンのほね

火曜日

13

### きょうのみことば

使徒 3:1-15

ペテロは、ヨハネとともにその男を見つめて、「私たちを見なさい」と言った。男は何かもらえると思って、ふたりに目を注いだ。すると、ペテロは、「金銀は私にはない。しかし、私にあるものを上げよう。ナザレのイエス・キリストの名によって、歩きなさい」と言って、(4-6)

## 目を大きくあけて 伝道の門を見よう

終わりも、はじまりもなくずっと続く図形を「メピウスの帯」と言います。そして、人々は終わったようなのに、もう一度、はじまる問題をたとえるときに使います。世の中は、終わりがなく繰り返す問題の中に陥っています。しかし、神様は、解決の門を開けてくださっています。

### 1. 伝道の門を見たペテロとヨハネ

神殿の美しい門の前で足のなえた人がもの乞いをしていました。ある人は足のなえた人がもの乞いすることができるように、神殿の前までつれてきてくれました。ある人はお金を投げしてくれました。しかし、メピウスの帯のように、くりかえす足のなえた人の問題を解決してあげることはできませんでした。「金銀は私にはないが、私にあるものを上げよう。ナザレのイエス・キリストの名によって歩きなさい」解決の門を知っていたペテロとヨハネは、大胆に手を差し出しながら話しました。すると足と足首に力が出てきた足のなえた人は、歩いたり走ったりもしました。このことは福音が広がるのに伝道の門になりました。

### 2. 目を大きく開いて見なければならない伝道の門

足のなえた人に必要だったのは、親切な助けでもお金でもありませんでした。イエス様に会っていのちを得て、のろいから抜け出すことでした。レムナントは、ペテロとヨハネのように、伝道の門を見るべきです。そのためには、神様のみことばに耳を傾けなければなりません。また、みことばを持って祈らなければなりません。そうすれば、神様の時刻表にしたがって伝道の門が開いて、現場の主人公として立つようになります。

私を伝道者として呼んでくださった神様、毎日、祈りの生活を送る伝道者にならせてください。私にあるイエス・キリストを伝えるまことの献身をすることができますように。神様に栄光をささげる正しい信仰で、私を導いてくださるイエス様のお名前によってお祈りします。アーメン

定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう

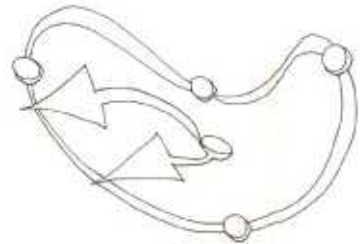
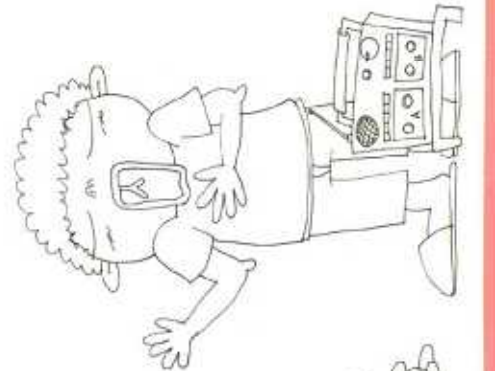
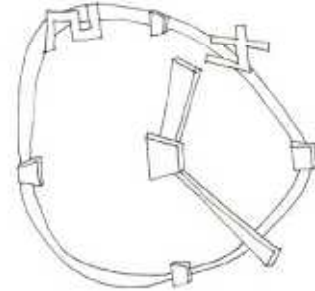
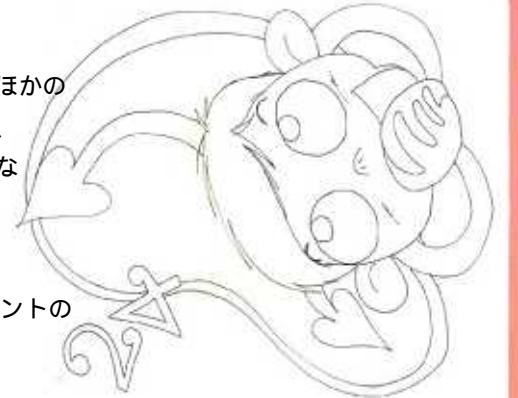
## 福音の根をどんどんおろすようにさせる時間

### RUTC 24

サウル王の心は、福音の体質ではないほかの体質が根をおろしていました。ねたみ、しつと、悪い習慣が人の祝福、霊的な祝福をみなのがすようにさせます。

それで、RUTC24 を通して福音の根をどんどんおろさなければなりません。きれいに色をぬって RUTC 24 にレムナントのみんなもひとつになりましょう。

\*RUTC24 は、福音文化をひっぱっていくレムナント共同体訓練場 (RUTC) をおいてみんながいっしょに祈りで参加する運動です。



水曜日

14

### きょうのみことば

出 2:17

あなたには、わたしのほかに、ほかの神々があつてはならない。

## ほかの神々があつてはならない

神様は聖書のあちこちで、「ほかの神々に仕えてはならない」ときびしくおっしゃいます。なぜ、そのようにきびしく、くり返しておっしゃるのでしょうか。人は、悪霊やサタンに仕えると、ほろびてしまうからです。神様は、神様の子どもが悪魔にだまされることを願っておられません。

### 1. この世の大きな問題を作りだすサタン

サタンは、人間が神様を離れるようにだまします(創世記3章)。神様を離れて、悪霊に仕えて生きるようにだまします(創世記6章)。神様に立ち向かい、神様をばかにするようにさせます(創世記11章)。サタンの誘惑にだまされた人間は、不幸とのろい、滅びを受けるしかありません。

### 2. 聖霊で答えられる神様

サタンがたとえ、だまして誘惑しても、イエス様のお名前でお祈りすれば、完全に縛られて離れていくしかありません。レムナントのみんなは、イエス様のお名前でお祈りはじめてみてください。イエス様のお名前でお祈りすればサタンの勢力が弱れます。また、聖霊様が満たして働いてくださいます。聖霊様は、びっくりするほどの力ですべての出会いと事件を通して、細かく答えさせていただきます。

### 3. サタンの誘惑なのか知らずにだまされる人々

神様が願っておられることが一つあります。サタンの誘惑に落ちて、神様に会えず、不幸とのろいの中で生きる人々に、「キリストであるイエス様を信じれば、これら全て問題から解放されるよ!」と、伝えることを望んでおられます。このことを頼むために、まず私たちを救われたのです。

神様の恵みでサタンの誘惑から出て、神様の子どもに呼んでくださったことを感謝します。この喜びをひとりで感じているのではなく、この世の人々に伝える伝道者として生きていきます。私を伝道者として呼んでくださったイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

定刻祈りの点検：昼 12時 教会のために祈りましょう。夜 9時 RUTCのために祈りましょう

本の中の本ヨハネの福音書 5章のお話

## 病氣だった人をいやされたイエス様

ユダヤ人の祭りがやってきました。それで、イエス様は、エルサレムに上られました。エルサレムには「羊の門」の近くに倒産が五つある池がありました。父はその池を「ベテスダ」と呼びました。そこには多くの病人が癒になっていました。天使が時々、羊の門に降りてきて、水を動かす時に、一番最初に入っていった人は、どんなに病氣であつても、みないやされるといううわさがあったためです。そこに35年の間、病氣になつて一人の男の人がいました。

イエス様はその男の人が癒になつていてるのを、見て、彼がとてども長い間、病氣になつていてることを知りました。それで、彼のところに行つて癒されました。「よくないのか」



彼はその場を離れて、ユダヤ人を訪ねて行って、自分を直して下さった方はイエス様だと話しました。ユダヤ人たちは、安息日に人を置いたとイエス様を話ねてきて向い話めしました。イエス様が彼らにおっしゃいます。

「わたしの父は、今まで働いておられるので、わたしも働くのです」

この言葉を聞いたユダヤ人たちは、神様を自分の父と呼びながら、神様と自分を同等に思うイエス様がともいややでした。それで、殺したくなつたのです。

しかし、イエス様は、天日に父なる神様がイエス様にくださった権威について彼らに話されました。しかし、だが彼らは信じなかつたのです。イエス様は彼らに最後におっしゃいました。

「モーセがわたしについて記録したが、モーセの書を信じないのに、どうしてわたしの話を信じるだろうか」

彼らは頭をしきりに痛に癒りながら、その場を離れました。



# 苦難のあとにくるきらびやかな栄光



きょうのみことば  
ローマ 8:18-25

今の時のいろいろの苦しみは将来私たちに啓示されようとしている栄光に比べれば、取るに足りないものと私は考えます。(18)

ふらふらする自転車とどんなに走ってもびくともしない自転車があります。どちらの自転車に乗りますか。いくら走ってもびくともしない自転車に乗るでしょう。神様も困難がきた時、不平不満、つぶやきを言いながら、ふらふらする人よりは、堂々と勝ち抜く人を用いてくださいます。

1. 眞の力を受けましょう  
イエス様を信じない人は「恐れるこわい霊」がともにいます。しかし、救われた人は、神様の霊である「聖霊様」がともにおられます。これが眞の力なのです。神様の子どもは、神様を守られるから、苦難がきても絶対にほろびません。むしろ、苦難の中で答えを受けて周囲の友だちを生かします。

2. 眞の希望があります  
苦難がやってきたのですか。前がまっくらでどのようにすべきか分からないのでしょうか。朝がくる前、明け方の空は一番まっくらなように、神様の栄光がやってくる時間なのでまっくらなのです。がっかりせずに、眞の希望を持ちましょう。神様が答えられる時刻表があります。それぞれ、その時刻表がちがうから、友だちと比較する必要はありません。ただ眞の希望を持って、信仰で待てば良いのです。しかし、サタンはがっかりさせ、絶望、失望感という贈り物を持てきます。この時、イエス様のお名前を祈ってみましょう。サタンはびくともできなくて、逃げてしまいます。神様はレムナントが神様がくださった力と信仰と希望を持って勝利するレムナントのモデルになることを望んでおられます。

神様、今までふらふらしている自転車のように、つぶやいて、不平不満を言っていましたもう、眞の力を持って、神様の時刻表を眞の希望を持って待つレムナントとして生きて。私をレムナントのモデルに呼んでくださったイエス様のお名前によってお祈りします。アーメン  
※ 定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう



病氣の人が啓えました。「先生、水が動き始める時、私を池の中に入れてくれる人がなくて、他の人が私より先に水の中に入ります」イエス様は病氣の人におっしゃいました。「起きて、床を取り上げて歩きなさい」すると、その人がすぐに置って、床を取り上げて歩いていきました。38年も病人だった人を置いたその日は、まさに安息日でした。



ユダヤ人たちは、病氣がよくなった人を訪れて話しました。「今日は安息日なのに、あなたが寝床を持って歩いたのは、律法を破ったことです!」  
「私を置して下さった方が、私に『床を取り上げて歩きなさい』と言われました!」  
「その人はだれですか」  
ユダヤ人が尋ねました。しかし、彼はわかりませんでした。ペテロの池には多くの人がいて、イエス様は彼を置した後、すでに群衆の中に消えてしまっていたためです。  
少ししてから、イエス様は彼に神殿の屋で会うようになりました。イエス様が「見なさい、あなたはよくなりました。もっと深刻なことになるように、再び罪を犯してはなりません!」と言われました。

# 毎日キャンプを準備しよう

金曜日

16

きょうのみことば

使徒 5:42

そして、毎日、みや  
家々で教え、イエスが  
キリストであることを  
のべ伝え続けた。

学校に行くと、授業の時間割がはってあります。その時間割ど  
おりに準備する物を持って行って、授業を受けます。しかし、  
授業の時間割は、学年ごとにみんな違います。神様は、レムナ  
ントにそれぞれ違う時刻表を持っておられます。ですから、他の  
友だちと比べることや、ねたむ必要はありません。神様は、神  
様の時刻表に従って、導いて働いてくださいます。

## 1. 毎日、伝道を準備してみよう

伝道にも時刻表があります。神様は伝道を心で準備して、行動で  
実践するレムナントをほほえみながら見ておられます。さあ、  
これから伝道する友だちの名前を書いた「伝道図表」、その友だ  
ちにあげたい「伝道資料」、伝道する友だちに福音をどのよう  
に伝えるのか考えてみる「伝道企画」を定刻の祈りの時ごとに  
していきましょう。神様から来る大きい答えを味わうでしょう。

## 2. 毎日スケジュールをチェックしてみよう

神様の救いの計画の中に、救われる友だちがすでに予定されて  
います。そして、いつ救われるかも、すでに計画されています。  
しかし、私たちは、だれが救われるか、いつ救われるのかわか  
りません。レムナントのみなさん、一日のスケジュールをたて  
る時、今日、だれに会うのか一度考えてみてください。今日、  
その人が神様が備えておかれた救いの対象者かもしれません。  
それなら、伝道資料を準備しないわけにはいかないでしょう。  
今日一日、スケジュールの中で伝道の実を味わうように願いま  
す。

神様の恵みで救ってくださって、伝道するレムナントとして呼んでくださって感謝します。  
私を受けた尊い救いの祝福を他の友だちにも伝えることができるように知恵をください。  
生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

定刻祈りの点検：昼 12時 教会のために祈りましょう。夜 9時 RUTCのために祈りましょう



出 3:15 神はさらにモーセに仰せられた。「イスラエル人に  
言え。あなたがたの父祖の神、アブラハムの神、イサクの神、  
ヤコブの神、主が、私をあなたがたのところに遣わされた、  
と言え。これが永遠にわたしの名、これが代々にわたって  
わたしの呼び名である。

# ヤーウェ Jehovah

ヤーウェという名は「自ら存在する」「存在するようになる」という意味です。  
いいかえるなら、ヤーウェは、この世のだれにも頼らない唯一のまことの  
存在者で、あらゆる物事の根源になる神だということです。そして  
ヤーウェは、傷が一つもなく、永遠で、約束されたことは必ず守られる  
方です。それだけではなく、すべての力の所有者で、その心が喜ばれる  
みこころどおりに、全てのをなしとげながら、自ら選択される方です。  
それで、ヤーウェが私たちの神様であるかぎり、私たちは絶対にゆれる  
理由がありません。私たちがゆれるとしても、ヤーウェの神様は  
決してゆれたり、変わったりしません。なぜでしょうか。自ら存在して  
契約を守る神様であるからです。

もう不平、不満、いらいら、ねたみ、しつとから  
出てきて、私に向かったすばらしい計画を持って  
成就されていくヤーウェの神様を味わいましょう。





17日(土)

## いの 祈りの答えを

### たいけん 体験しよう

げつよう  
月曜の朝、カツミは学校に向かってトボトボと歩いていた。

「カツミちゃん！」

とおくから、だれかがカツミを呼んだ。ダイジだった。

ダイジは、カツミの教会の友だちだ。もともと、ダイジは、お父さん、お母さんと  
いっしょに寺に通っていた。しかし、お父さん、お母さんの反対を押し切って、  
さっそうと教会に出てくる。カツミの記憶では、ダイジが教会に出て来なかった  
ことは一度もなかったと思う。

「なんだか、力がないように思えるけど、何かあったの？」

カツミは、下を向きながら話した。

「お母さんに、きのう、しかられたの。メッセージのみことばでいっしょに話して  
みよう(フォーラム、forum)としたのに、みことばが一つも思い出せなかったの」  
「そう。それじゃ、今日、ぼくといっしょに「ミッションホーム」に行こうよ」  
「そこに行ったら、なにかもらえるの？」

「みことばどおりフォーラムして、実質的な祈りの答えを体験できるようになるよ」

カツミは、ダイジのことばがとてうれしく聞こえた。それで「行く！」と答えた。  
カツミは、ダイジといっしょに、学校の前のミッションホームに行った。

教会の先生は、にちよう  
日曜のメッセージのみことばをもう一度、せいり  
整理してくださった。

「あ、このみことばが、このみことばだったんだ」

カツミは、自分が書いておいた<子どもの祈りの手帳>を広げながらうなずいた。

そして、フォーラムの時間になった。ダイジのフォーラムの番だった。

「きのう、れいはい  
礼拝をみな終えて家に帰ったら、お父さんが、ぼくを呼びました。」

お父さんは、ぼう  
お坊さんにあいさつして、ろうそくをつけるように言いました。

ていじくいの てんけん  
定刻祈りの点検:

昼 12 時

教会のために祈りましょう。

夜 9 時

RUTCのために祈りましょう

ぼくは、お父さんがとてもこわいから、何も話せませんでした。でも、偶像に  
おじぎをするのを、もっともきらわれるという昨日のメッセージのみことばを  
ずっと思い出しました。それでぼくは他の部屋に入って祈りました。

『神様、礼拝時間に<ねたむ神様>というタイトルでメッセージされたでしょう。

偶像におじぎをするのを一番きらわれると言われたのではないですか。

ぼくも偶像におじぎをしたくないけれど、お父さんがこわくておじぎを  
しなければならないようです。助けてください。』

ところが、突然、外でお母さんが『雨がどしゃ降りて降ってきたわ!お寺には  
行けないですよ』と言ったのです。ぼくはぱっと立ちあがって窓の外を見ました。

本当に、雨がすごく降っていました。神様がぼくの祈りに答えてくださるのを  
もう一度体験しました」

カツミは、ダイジをじろじろ見つめた。

「ダイジは、神様と直接会って話すように祈るんだな。わたしはお母さんの  
顔色を見るので、だいたい祈っているふりをする時が多いけれど・・・

私もダイジのように、神様とお話するように祈れるだろうか。

神様、私もそのようなことができるでしょうか。

ダイジのように、神様の前でみことばをにぎって実質的に  
祈って答えられるのですか」

カツミは、胸に手を置いて心の中で話した。

カツミの心の深い所で「もちろん」という

神様の声が聞こえてくるようだった。

